

2021年度事業報告

1. 広報関係

- 1) 2022年3月31日に『会報』30号を発行した。
(内容：第33回研修会報告、図書館と県民のつどい埼玉2021報告、活動報告2021)
- 2) SALA ウェブサイトの整備を一層進めた(イベント等のお知らせ、記録)。

2. 研修会の開催

- 1) 第33回研修会を以下のとおり開催した。
日 時：2021年12月10日(金)13:30~15:40
開 催：オンライン会議システム (Zoom) を利用したリモート開催
参加人数：63名(27機関)
テーマ：電子書籍について考える
コロナ禍において再認識された電子書籍を取り上げ、提供側、図書館側から講演および報告がなされた。紀伊國屋書店の講演では、KinoDen、LibrariEを中心として電子書籍をめぐる課題と事例が紹介された。埼玉大学図書館、文教大学越谷図書館からは、現場からの利用事例の報告がなされた。

3. 共通閲覧証利用実績調査の実施

- ・別紙資料の通り

4. 共同購入事業の実施、及びその拡大

- 1) 物品の共同購入事業について、10企業と取引している。
- 2) 取引先と実績は別紙資料の通り。

5. 「図書館と県民のつどい埼玉 2021」への参加

昨年度に引き続きオンラインでの開催となり、2021年12月11日(土)~12日(日)に記念講演ほかの企画がオンライン配信された。また、「司書が魅せる!WEB展示」(公開期間2021年12月11日(土)~2022年1月10日(月))という企画の中で、「SALA加盟図書館所蔵資料展示会」という形でSALA加盟機関有志がオンライン展示を行った。参加機関(5機関)国立女性教育会館、城西大学、聖学院大学、大東文化大学、山村学園短期大学

6. 総会開催

第34回総会を通信総会形式により以下の日程で開催した。
議題送信：6月7日、質疑提出期限：6月7~11日、質疑回答送信：6月16日、投票期間：6月16~18日、投票結果送信：6月21日
昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症流行の中での開催となった。会則上、総会をどのような形態で開催するかは特段の定めがないことから、幹事会裁定によりメールを活用した通信総会となった。

7. 今後のSALAの運営の在り方について検討する

ワーキング・グループ内で検討を進め、輪番表のシミュレーション案を作成し、幹事会に報告をした。

8. 幹事会の開催

次の通り、幹事会を開催した。

第1回（9月21日（火）～10月11日（月） メール審議）

（承認事項）

- 1) 前回議事録（案）の承認
- 2) 第34回総会議事録（案）の承認

（報告事項）

- 1) 役割分担について
- 2) 2021年度事業について
- 3) Open Library Weeks 今年度 OPEN 募集状況
- 4) 「図書館と県民のつどい埼玉 2021」について

（審議事項）

- 1) Open Library Weeks の発展的解消について
- 2) 共同購入新規参入業者について
- 3) SALA 会報 30 号刊行計画について
- 4) 第33回研修会について
- 5) その他

第2回（2021年11月15日（月） オンライン会議）

（承認事項）

- 1) 前回議事録（案）の承認

（報告事項）

- 1) 各幹事の自己紹介
- 2) 図書館と県民のつどい埼玉 2021 の進捗状況について

（審議事項）

- 1) 第33回研修会について

第3回（2022年2月8日（火）～2月10日（木） メール審議）

（審議事項）

- 1) 代表幹事館（会則第9条第4項に基づく共同代表幹事館）選出

第4回（2022年3月29日（火） オンライン開催）

（承認事項）

- 1) 第2回議事録（案）の承認
- 2) 第3回議事録（案）の承認

（報告事項）

- 1) 担当者交代について
- 2) 2021年度事業について

（協議事項）

- 1) 日本赤十字看護大学図書館大宮館新規加盟について
- 2) 第35回総会について
- 3) 2022年度事業計画について

その他、事業実施等のため、メーリングリストを活用し、検討を行った（研修会等）。

以上